

主にセメント製造プラントの ふたつの工程で活躍している 「CKミル」の構造



TUPIセメント/ブラジル

■セメント製造プラントで活躍する「CKミル」



「仕上粉碎」工程への適用例
(唐山耀東セメント/中国)



「原料粉碎」工程への適用例
(サイアムセメント/タイ)

セメント製造プラントの 省エネルギーに大きな効果

セメントは、主原料の石灰石と副原料の粘土やけい石、鉄原料などを一緒に乾燥・粉碎した後、焼成→仕上粉碎という工程を経て製品化される。これらの工程のうち、「原料粉碎」と「仕上粉碎」に用いられるのが、川崎重工が開発した高効率ローラミル「CKミル」である。

ローラミルは、粉碎機底部の回転テーブルとローラとの間に粉碎すべきものをかみ込ませてすりつぶす——すり鉢のゴマをすりこ木ですりつぶすような原理の装置で、「乾燥」「粉碎」「分級」の3機能を併せ持っている。

高効率で省エネ型の「CKミル」を導入すると、従来の粉碎機(チューブミル)に比べて30~50%という大きな省エネルギー効果が見込める。

中国合併会社を設立後、 受注件数が飛躍的に増加。 受注累計100台を達成

このセメントプラント用大型粉碎機「CKミル」がこのほど、受注累計100台を達成した。川崎重工は、中国のCONCHグループと合併会社を設立し、高品質・低価格を追求するとともに活発に販売促進に取り組み、中国国内はもとよりタイやブラジル、インドネシアなどで受注を重ね、累計100台という大台を記録した。

「CKミル」はまた、高炉スラグ(溶鉱炉での鉄精練の際、鉄鉱石から分離される不純物)を利用した高炉セメント粉碎用としても活躍している。

高効率で信頼性の高い「CKミル」は今後も、グローバルな生産活動を展開するセメントメジャーをはじめとして幅広い需要が期待される。

CKミル製造工場/
安徽海螺川崎節能設備製造有限公司(中国)

